

## 奈良県放課後児童対策推進委員会 概要

- 日 時：令和6年3月18日（月）14：00～16：00
- 場 所：奈良県経済倶楽部 小会議室
- 議 題：放課後児童クラブ・放課後子ども教室の現状について  
支援員の確保について  
保護者の対応について  
こどもの居場所について  
放課後子ども教室との連携について  
研修のオンライン化について
- 出席者：今西敏幸委員、上平直美委員、岡田龍樹委員長、武元一真委員、利川茂宏委員、畑香委員（五十音順）
- 議事概要：

<開会挨拶>・・・西村こども・女性局長より挨拶

<議事>

<定足数報告>・・・委員6名出席

<委員紹介>・・・事務局より別添委員名簿に基づき、委員を紹介

<事務局より資料説明>

・・・資料01（人権地域教育課）、資料02（奈良っ子はぐくみ課）

<支援員の確保について>

### 【畑委員】

放課後児童支援員認定資格研修を修了し資格を取得しても、辞めていく方が多いため、人材が不足している。

### 【上平委員】

支援員の方は50代以降の方が多いため、高齢化が進んでいる。資格を取得しても辞められる方が多いというのは年齢も関係するのではないか。

また、資格を取得しても、年齢層が高いため、長期間毎日来て頂ける人は限られているという現状もある。若い人材が必要ではあるが、学童は夕方からの勤務のため、自分のこどもが小さいと働けない。

### 【畑委員】

保育人材バンクがされている就職フェアでも、学童保育の相談ブースに来られる方の年齢層は高い。新卒で就活に来られている方も多くいらっしゃる

が、学童保育のブースには来られない。また、配布される資料の中に、時給や月給が載っており、月給が高いところの相談ブースは人気がある。

現在、学童保育で働いていらっしゃる方は、扶養範囲内でパートタイマーの働き方を望んでいらっしゃるため、そのような働き方しか求人がなく、新卒の方の働き先としては、ターゲットにならない。そもそもの学童保育の働き方を変えなければ、若い人材の確保は見込めない。フルタイムの方がいて、補助的にパートタイマーの方がいるような、普通の企業と同じような働き方ができるような職場を目指していくことが必要。

#### 【利川委員】

奈良市では、令和5年度に子育て世帯の方を募集するため13:00~17:00のメイン時間のみの募集を行ったが、あまり応募がなかった。学童保育の今の構造上、人員の確保が難しいというところがある。

#### 【岡田委員長】

こどもを預かっている時間だけが仕事と考えると労働時間は増えない。こどもを預かっている時間以外のところでどんな仕事があるのか、仕事に見える化して、仕事を作らないといけない。構造を変えようとするとういった議論が必要になる。

#### 【畑委員】

実際に、学童保育の指導員はこどもがいる時しか勤務していないが、こどもがいる時間に事務をしたり、日誌を書いたりしている。そのため、こどもと向き合う時間がなくなり、やりがい無くしてしまっていて辞めて行かれる方も多いと聞いている。労働時間を確保して、事務等の仕事はこどもがいない時間にできるようにしないとイケない。そうすると、必然的にフルタイムとしての扱いもできるようになり、若い人達の働き場としての候補にも挙がってくるのでないか。

#### 【岡田委員長】

預かっている時間の質を良くするためには、事前準備が必要であり、その時間を充実させることによって、学童保育の質が良くなるという考え方を浸透させていかなければならない。

#### 【今西委員】

多様な働き方を進めていくためには、予算を増やしていかないとイケない。多様な働き方ができるような受け皿を整えていくべき。

<保護者の対応について>

**【畑委員】**

保護者の対応が年々困難になっている。今は保護者会に参加されない方も多く、他の保護者や指導員と交流を持つことが少なくなっている。そういったことも、指導員が働きにくくなっている要因の一つと考えられる。

**【武元委員】**

保護者対応はエネルギーがいるため、離職に繋がることも多い。

**【上平委員】**

香芝市は指定管理でやっているの、指導員と保護者の間を取り持ってくれている。上手な接し方や捌き方を知っている方がいれば、双方にとって安心につながると思う。

<こどもの居場所について>

**【利川委員】**

支援が必要な子は、昼間は普通学級と支援学級の行き来ができるが、学童保育は1年生から6年生まで同じ部屋で騒がしい状態で一緒にいなければならない。その子にとってベストな環境は何かを考えるべき。また、あらゆる対応が求められる現場の指導員の負担もかなり大きい。支援が必要な子の放課後の居場所作りを考えていくべき。

**【岡田委員長】**

こどもを見てくれる多様な団体があって、そこをこどもが行き来できるような環境を整えてあげられれば、こどもにとって良いのではないか。

**【利川委員】**

夏休みは放課後児童クラブの利用数が増える。学校が休みになると、朝8時から夕方まで学校と違う環境でずっとみんなで一緒にいることになる。こどもがそういった環境を求めているら良いが、親の都合だけでそういった状況になっているのであれば、心的な負担は大きいと思う。こどもの選択肢を増やしてあげないといけない。

**【畑委員】**

夏休みになって急に新しい子が入ってきて、4月から関係性を培ってきている子ども達も戸惑うし、新しく入ってきた子も戸惑うし、お互いに慣れない同士でトラブルが起きたりもする。夏休みだけを利用したければ、別の選択肢があっても良いと思う。

#### <放課後子ども教室との連携について>

##### 【利川委員】

奈良市では、学校敷地内に学童保育があるため、連携は比較的できている。ただ、他市町村から赴任された学校の先生がいらっしゃると、始めは戸惑われて連携が難しい部分もある。学童保育が学校内にあるかどうかで変わってくると思う。

##### 【武元委員】

生駒市も学校内にあるため、問題はないと思う。

##### 【上平委員】

香芝市は全てが学校敷地内にあるとは限らない。今は、連絡事項が配信されるものを指導員にも登録していただいて、学校からの情報は届くようになっている。子どもも多様化しているため、支援が必要な子についても、学校との連携はできていると思う。

##### 【畑委員】

学童保育の子どもが子ども教室に参加できるような連携のシステムは取っているが、行きたくない子どもも必ずいる。子ども教室へ引率する指導員、学童保育に残っている子のために残る指導員と、指導員の人数が限られているなか、難しい部分はある。

#### <研修のオンライン化について>

##### 【事務局】

支援員の研修で今年度 e ラーニングを導入したが、申込みが減少した。資質向上研修でもアンケートをオンライン化したが、指導員の方々はQRコードでの回答が難しいようだった。オンライン化していくのは難しいのか。

##### 【武元委員】

生駒市でも指導員の確保のため、今年度 web の SPI を導入したが、年齢層

が高いこともあり、応募が来なくなってしまった。パソコンができる環境がないという方も多く、生駒市で部屋を用意しなければならないこともあった。

**【畑委員】**

今年始めたばかりというところで、まだ広まっていないということもあると思う。高齢の方でも環境を整えばできるようになる方も多いと思うので、各クラブの Wi-Fi を設置する等、体制を整えることも大事。

**【今西委員】**

使い方を周知することも重要。アンケートについては、回答の時間をその場でとることが必要なのではないか。